

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名： 斉 藤 親

事業名 けいせいほんせん 京成本線	事業区分 街 路	事業主体 千葉県	
起終点 自：千葉県船橋市海神1丁目 至：千葉県船橋市宮本4丁目		延長	2.5 km
事業概要 京成本線海神駅～船橋競馬場駅間約2.5kmにおいて鉄道を高架化し、ボトルネック踏切を2箇所含む、16箇所の踏切が除却され、踏切遮断による交通渋滞、踏切事故の解消及び京成本線により南北に分断されていた市街地の一体化を図る事業である。			
S58年度事業化	S58年度都市計画決定	S59年度用地着手	H4年度工事着手
全体事業費	約565億円	事業進捗率	75% 供用済延長 0.0 km
踏切交通遮断量 38万台時/日			
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (事業全体) 565億円 〔事業費：564.6億円〕	総便益 (事業全体) 949億円 〔走行時間短縮便益：567.1億円 迂回交通解消便益：305.0億円 走行経費減少便益等：76.8億円〕
基準年 平成15年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却の効果等） ・都市の再生（市街地再開発等の沿道まちづくりとの連携あり） ・個性ある地域の形成（鉄道により一体発展が阻害されている地区を解消する）			
関係する地方公共団体等の意見 京成本線連続立体交差事業により、踏切遮断による交通渋滞、踏切事故の解消等が期待されており、地元市から早期整備の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 京成船橋駅、大神宮下駅周辺を取り巻く劣悪な交通事情は、ますます深刻化している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 高架化工事に係る用地は確保されている。平成15年度末の事業進捗率は、約75%である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在、全事業区間において、高架橋工事、駅舎工事等を進めており、平成18年度上下線高架化を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 特になし			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。